

H28年6月

～利用者同士の思いがけない交流～

何ヶ月か前にあった出来事です。来室された女性の話を伺っておりましたら、その男性は入って来られたあと挨拶だけされて、背中を向けたまま本を見ておられました。女性はがんを患うご主人を支えて毎日を過ごしておられたので、医師から紹介された図書室は「気分転換になるんです」と、ご主人が受診の時は決まって話をするために来室されていました。話が途切れた時、ジッとしている男性に私は「何かお探しですか？」と声を掛けてみると「話を聞いて欲しいんです・・・」と言われました。そして、今度は男性がご自身のことを話し出したのです。病歴や家族の事、思いを私達に向かって話し始めました。リストカットをした傷も見せ、独りで耐えた辛さを一気に話されました。

すると、突然女性が「一緒に頑張ろう！」と傍に寄り手を握り、その方を見上げながら一生懸命に…何度も…何度も励ましの言葉を繰り返しました。笑顔になった男性を見て私たちは嬉しかったです。入り口で見送ると、男性は時々振り返りながら帰りました。私たちは、振り返らなくなるまで見送りました。その後男性の来室はありませんが、励ましていた女性は、その後も心を寄せて心配をしておられます。

～よく読まれている図書をご紹介します～

1. 嫌われる勇気—自己啓発の源流「アドラー」の教え 2014年9月 ダイヤモンド社
来室された女性が、心理学の本が読みたいと言われましたので、自己啓発のメンターたちに多大な影響を与えたアルフレッド・アドラーの本を配架。「人は、自分には価値があると思えた時にだけ、勇気を持てる」と書かれています。年齢に関係なく、図書室で読まれたり、借りられたりしています
2. やさしい前立腺のマネジメント 2001年7月 医薬ジャーナル社
尿の出方が悪かったり、夜に何回か排尿に起きたりするので・・・と読まれています
3. 安保徹が教える免疫力を10倍高める食べ方 2014年4月 永岡書店
体に備わっている免疫力を上げることが、大事！あなたの自然治癒力を引き出すポイントが書かれていますよ～出来るかな？
4. 全部見える脳・神経疾患 2014年5月 成美堂出版
脳神経疾患で入院された方のご家族が、読まれていましたね～
5. 新版 家庭で出来るリハビリテーション 2013年5月 法研
自宅で介護することになった方や日々の動きが悪くなった方など、参考にされています

～子供の本～

当院では、療育が必要な子供さんが多数通院されています。特に病気やそれぞれの成長の仕方が異なりますので、参考になる本を配架して行きたいと思っています。